

福井大学医学部医学科

教育プログラムとアウトカム基盤型教育

福井大学医学部医学科では、医学部の**理念**（1 ページ）のもと、卒業時に達成すべき学修成果を**アウトカム**（学修成果）として定め、それらを達成するために卒業までに修得すべき能力を**コンピテンシー**として設定する、**アウトカム基盤型教育**（Outcome-Based Education, OBE）に基づいた教育プログラムを構成しています。

本学のアウトカムは 3 項目からなり、それぞれのアウトカムに必要なコンピテンシー大領域を 8 項目設定しています。さらに、コンピテンシー大領域のそれぞれを具体的な能力として表した 36 項目の小領域を設定しています。アウトカム、コンピテンシー大領域、小領域の詳細は、**ディプロマ・ポリシー**（4～7 ページ）に記載します。

このアウトカム基盤型の教育プログラムでは、卒業までにコンピテンシーを順次修得できるよう**カリキュラム・ポリシー**（8～9 ページ）を定めて**カリキュラム**を構成（10～12 ページ）し、医学教育のガイドラインであるモデル・コア・カリキュラムに準拠するとともに、本学の特色ある教育を含めています（13～14 ページ）。そして、これらの修得状況は、各年次・各科目におけるコンピテンシー小領域に対応したそれぞれの達成レベル（15～18 ページ）によって評価し、単位として認定します。さらに卒業時には、最終的にアウトカムを達成できたかどうかを評価（**アウトカム評価**）（19 ページ）し、学位を授与します。

アウトカム基盤型教育における「理念-アウトカム-コンピテンシー-カリキュラム-アウトカム評価」の関係を次に示します。

